

第52期第2四半期(2023年5月期)

# 決算説明資料

2023年1月13日

タケダ機械株式会社

証券コード：6150

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (連結損益計算書)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度又は対予想値との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
			対前年度	増減率
売上高	2,110	2,083	+27	+1.3%
営業利益	176	119	+56	+47.6%
経常利益	197	142	+54	+38.1%
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益	160	90	+69	+77.1%

	当年度 実績値	当年度 予想値	対予想値との差異	
			対予想値	増減率
売上高	2,110	2,350	△239	△10.2%
経常利益	197	110	+87	+79.5%

## 【対前年度との主な要因】

景況感に大きな変動はないものの、物価高や為替相場の変動など不安要素は拡大

## 【段階利益の差異】

製造部品の長納期化の拡大

・生産の前倒しによる操業の向上

特別利益の発生

・補助金収入 +49 (機械設備の導入)

## 【対予想値との主な要因】

## 【売上高の差異】

製造部品の長納期化からお客様の納入日が下期や翌期にずれ込んだ影響

## 【経常利益の差異】

製造部品の長納期化の拡大から常態化へ

・生産の前倒しによる操業の向上

# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (連結貸借対照表：資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
			金額	増減率	
流動資産	4,276	4,279	△3	△0.1%	↘
固定資産	2,493	2,459	+34	+1.4%	↗
(有形固定資産)	(2,007)	(1,964)	(+42)	(+2.2%)	↗
(無形固定資産)	(79)	(107)	(△27)	(△26.0%)	↘
(投資その他)	(407)	(387)	(+19)	(+5.1%)	↗
資産計	6,770	6,739	+30	+0.5%	↗

## 【流動資産】

### (増加の主な要因)

- ・棚卸資産 +382

### (減少の主な要因)

- ・受取手形及び売掛金 △247
- ・現金及び預金 △165

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

# 2023年5月期第2四半期の決算概要

## (連結貸借対照表：負債及び純資産の部)

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異		
			金額	増減率	
負債	2,333	2,420	△87	△3.6%	↘
(流動負債)	(1,596)	(1,769)	(△173)	(△9.8%)	↘
(固定負債)	(737)	(651)	(+85)	(+13.2%)	↗
純資産	4,436	4,318	+118	+2.7%	↗
(株主資本)	(4,434)	(4,319)	(+114)	(+2.7%)	↗
(包括利益)	(2)	(△0)	(+3)	—	↗
負債・純資産計	6,770	6,739	+30	+0.5%	↗

### 【負債】

#### (増加の主な要因)

- ・支払手形及び買掛金 +70

#### (減少の主な要因)

- ・短期借入金 △100
- ・未払法人税等 △65

### 【純資産】

#### (増加の主な要因)

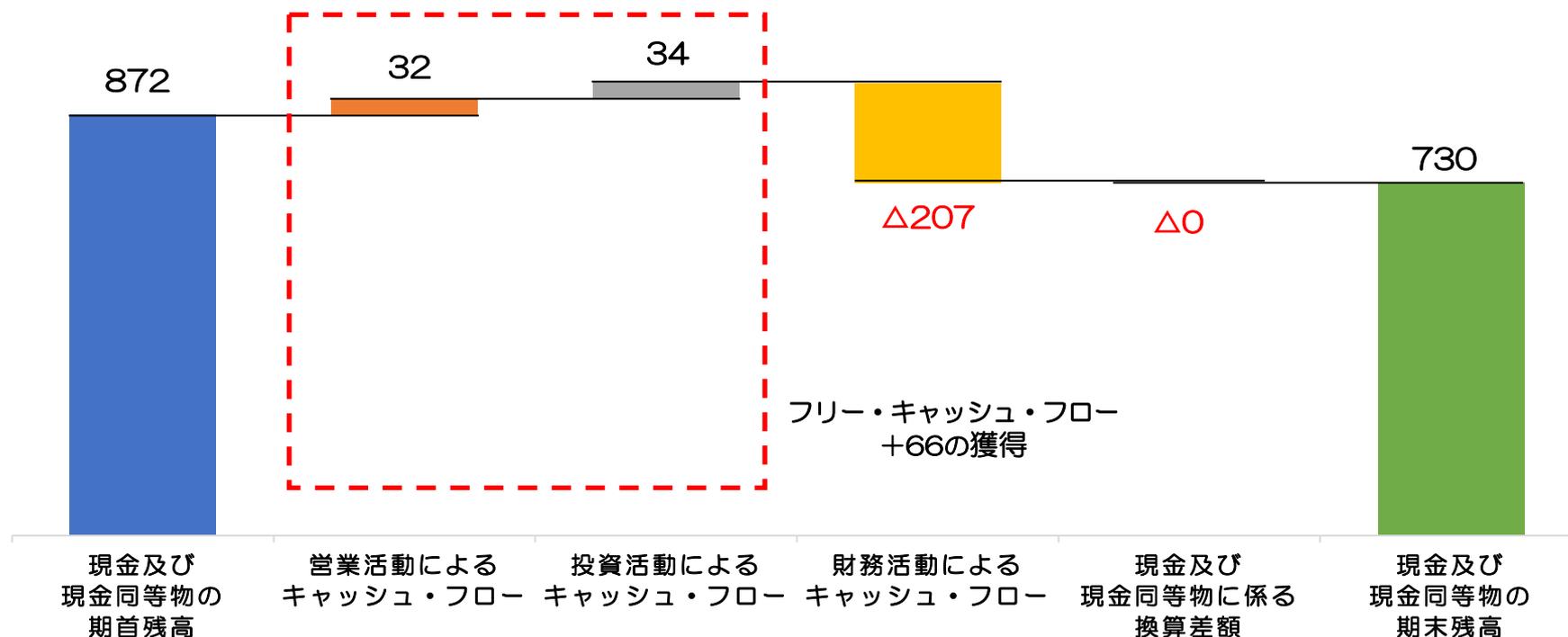
- ・利益剰余金 +114

(注) 前年度実績値は、年度末の値であります。

# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)①

当第2四半期における現金及び現金同等物の増減推移

(単位：百万円未満切捨て)



(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (連結キャッシュ・フロー計算書)②

(単位：百万円未満切捨て、%表示は対前年度との増減率)

	当年度 実績値	前年度 実績値	対前年度との差異	
期首残高	872	266		
営業活動 によるCF	32	631	△599	△94.9%
投資活動 によるCF	34	45	△11	△25.1%
財務活動 によるCF	△207	△211	+4	-
換算差額	△0	△0	△0	-
期末残高	730	731		

(注) 1. 表中に記載の「CF」とは、「キャッシュ・フロー」を略したものであります。  
2. 右記に記載の内容は、対前年度との差異についての記載であります。

## 【営業活動によるキャッシュ・フロー】

### (増加の主な要因)

- 税金等調整前四半期純利益 +105
- 売上債権の増減額 +100

### (減少の主な要因)

- 棚卸資産の増減額 △462
- 法人税等の支払額又は還付額 △152
- 補助金収入 △49

## 【投資活動によるキャッシュ・フロー】

### (増加の主な要因)

- 補助金の受取額 +49

### (減少の主な要因)

- 定期預金の支出入 △71

## 【財務活動によるキャッシュ・フロー】

### (増加の主な要因)

- 短期借入金の支出入 +300

### (減少の主な要因)

- 長期借入金の支出入 △274

# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)①

(単位：百万円未満切捨て)

	直近の業績推移及び当期の業績予想数値					当期 第2四半期
	2019年	2020年	2021年	2022年	※当期予想	
売上高	6,141	5,056	3,500	4,444	4,800	2,110
経常利益	861	542	178	409	330	197
(親会社株主に帰属する) 当期純利益	640	350	118	260	245	160

※2022年7月14日付  
公表の予想数値

## 【当期の見通しについて】

### (プラス要因)

#### 底堅い継続的な内需

- 都市圏の大型鋼構造物プロジェクト
- 国土強靱化基本計画によるインフラ需要
- 物流倉庫、データセンター等の建設

### (マイナス要因)

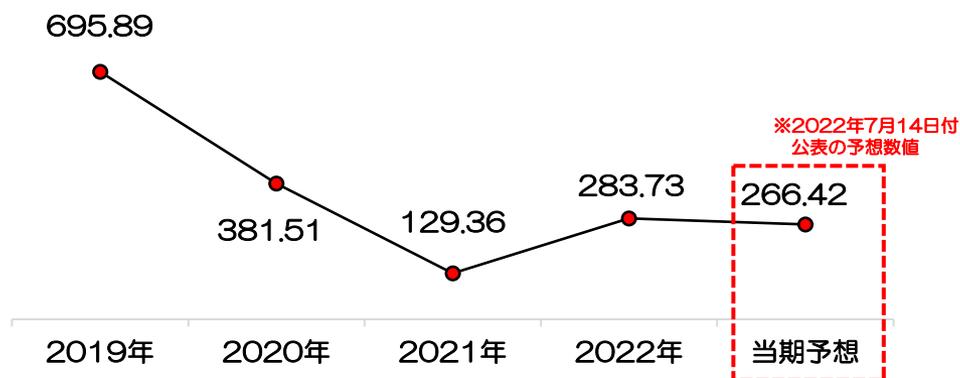
#### 新型コロナウイルス感染症の影響

- 徐々に縮小しながらも継続する見通し
- #### 製造部品の長納期化
- 半導体以外の製造部品にも影響
- #### 鋼材価格の高騰
- 外需の高まり→品薄の状態へ

# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (直近の業績推移、当期の業績予想)②

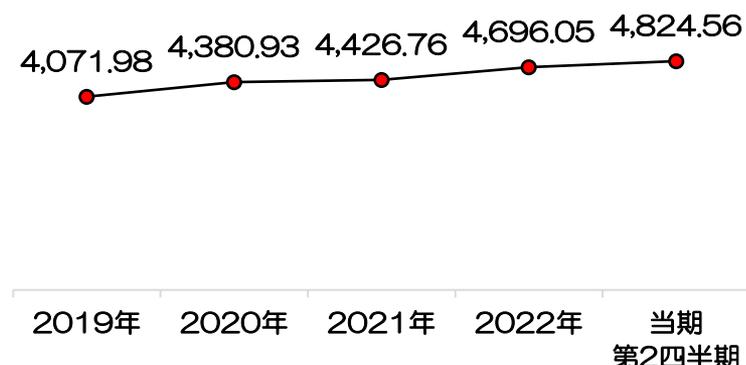
1株当たり当期純利益

(単位：円)



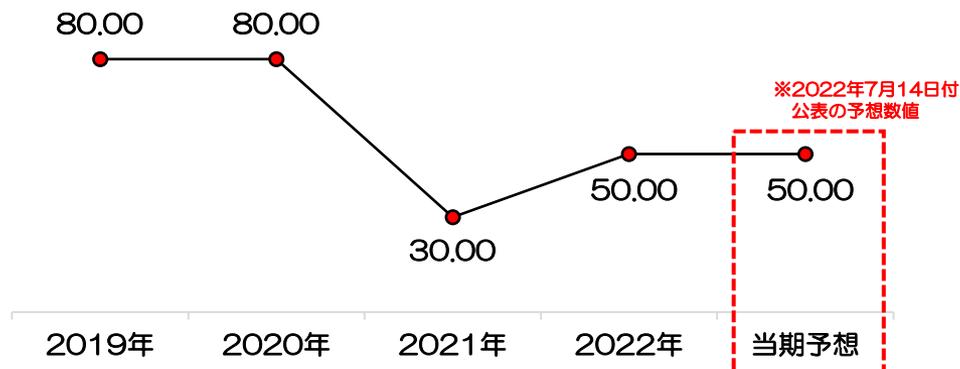
1株当たり純資産

(単位：円)



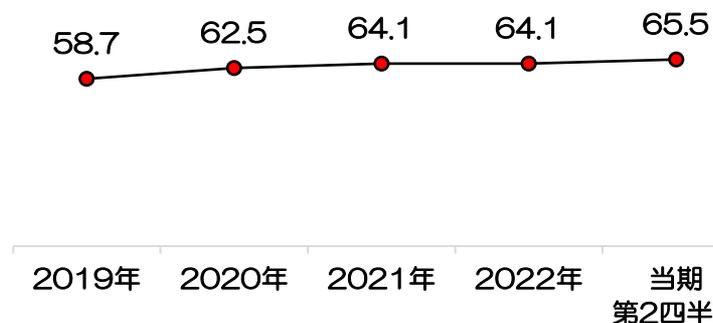
1株当たり配当金

(単位：円)



自己資本比率

(単位：%)



# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (直近の現金及び現金同等物の推移)

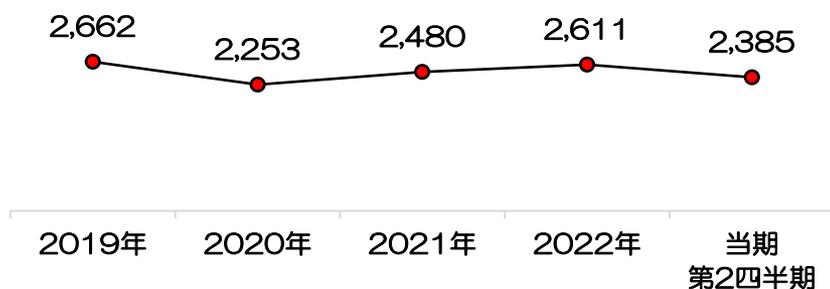
(単位：百万円未満切捨て)

	直近の現金及び現金同等物の推移				
	2019年	2020年	2021年	2022年	当期 第2四半期
期首残高	206	438	465	266	872
営業活動による キャッシュ・フロー	769	386	△138	991	32
投資活動による キャッシュ・フロー	10	△281	8	△63	34
財務活動による キャッシュ・フロー	△548	△77	△67	△321	△207
換算差額	0	△0	△0	△1	△0
期末残高	438	465	266	872	730
フリー・キャッシュ・ フロー	779	105	△130	927	66

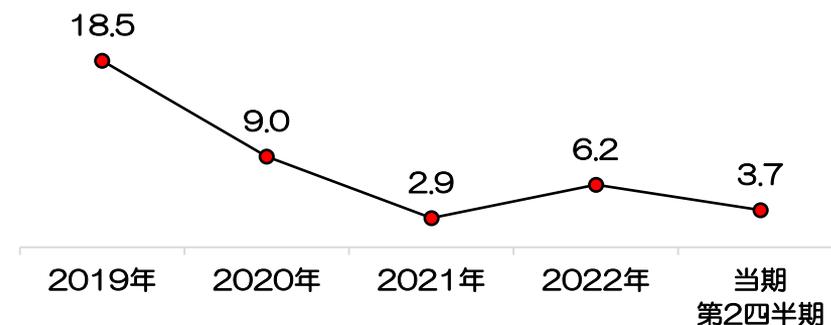
(注) フリー・キャッシュ・フローに記載する金額は、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローに記載する金額を合計した金額であります。

# 2023年5月期第2四半期の決算概要 (直近の期末株価、各利益率等の推移)

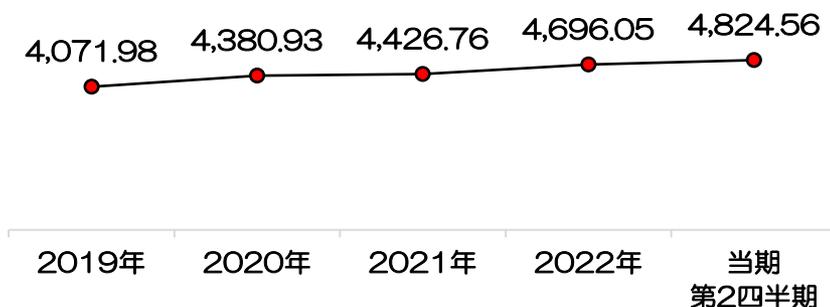
期末日の株価 (単位：円)



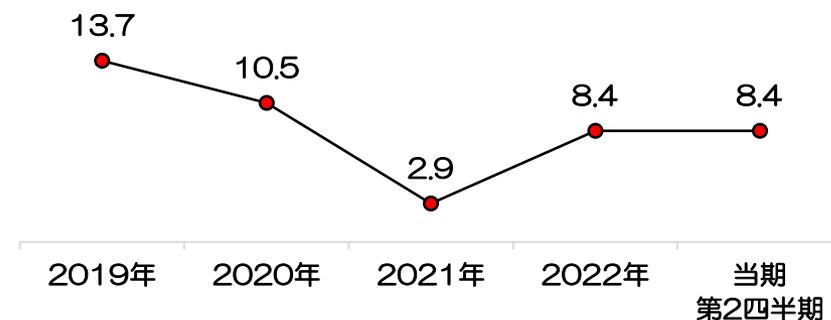
自己資本当期純利益率 (単位：%)



※(参考) 1株当たり純資産 (単位：円)



売上高営業利益率 (単位：%)



# HUMAN HEART

お客さまそれぞれの、課題に corres える加工システムをご提案します。